

1 学校での感染や感染拡大を防ぐための対策

- 朝の会、帰りの会及び部活動開始時など、1日に複数回の健康観察で児童生徒の体調把握を行います。
- 昼食などすべての飲食の場面で、飛沫を飛ばさないような席の配置や黙食等を行います。
- 歯磨きは、学校規模により現状が異なりますので、中止したり時間帯をずらし行ったり柔軟に対応します。
- 休み時間の児童生徒同士の接触やトイレ等での密集をできる限り避けるようにします。
- 学校で体調不良となった児童生徒が我慢せずすぐ知らせることができるように、申し出やすい環境づくりをします。
- 校内では休み時間を含め必ずマスクを着用します。
- 授業中も休み時間も、常に換気を行います。
- こまめに石けんで丁寧な手洗いをします。必要に応じてアルコール消毒も行います。
- 教科等の学習においては、感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動（合唱など）は行いません。
- 教室の机や椅子等は、毎日必ず消毒します。